

ご来院の皆様へ
臨床研究「急性膵炎の栄養開始時期の検討」
へのご協力をお願い

1.はじめに

急性膵炎は膵液に含まれる消化酵素によって、膵が自らを消化してしまう病気です。他の臓器にまで影響を及ぼし、人の命を脅かすこともあります。当院でも1年間で約50名、急性膵炎の患者様が入院での治療を受けています。今まで急性膵炎において、早い段階での栄養療法は早期回復に重要であることが分かっていました。2021年急性膵炎診療ガイドラインでは、更に早い段階での消化管栄養開始が重要とされました。軽症は発症1日以内、重症でも入院後2日以内の開始が推奨されています。当院でも従来の診療ガイドラインに準じ、できる限り早く消化管を通した栄養療法を開始しています。当院で過去、治療受けられた膵炎患者様を対象に栄養療法の方法や開始時期などが適切に行われていたかを検討し、今後の治療に活かしていきたいと考えました。何卒、ご理解とご協力を頂きますようお願い致します。

2.研究の方法について

当院で過去に急性膵炎で入院加療を受けられた患者様を対象に、消化管栄養開始時期、栄養経路（経口・経胃・経腸）・種類、合併症発生率、致命率、食事再開後の在院期間などに注目して検討します。尚、本研究は当院の倫理委員会により所定の審査を経て許可を得て行っております。

1. 診療情報等の管理について

研究のデータは主に電子的に処理され、本研究の結果を解析するために使われます。解析のために患者様の診療に関する医療情報を使用させて頂く場合がありますが、個人情報保護のために、名前は記号や番号に置き換えて取り扱われます。皆様の個人情報の管理は十分慎重に行い、プライバシーの漏洩がないように致します。

2. 研究参加への同意または不同意について

この臨床研究への参加の同意・不同意は患者様の自由であり、同意しない場合でも、なんら不利益を受けることはありません。また、参加同意後もいつでもこれを撤回できます。研究への参加をご希望されない方、また参加同意を撤回されたい方は、お手数ですが次ページを印刷のうえご署名頂き、最寄りのナースステーションまたは臨床研究推進センターまでご提出をお願い致します。

5. 研究成果の公表について

この研究によって得られた研究成果などが、科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、公開内容には個人のプライバシーに関わることは含みません。

ご不明な点やご質問などございましたら下記連絡先までお願い致します。

2022年 4月 26日

<不同意書>

茨城県立中央病院院長
島居 徹 殿

私は、「急性膵炎の栄養開始時期の検討」の研究に同意致しません。

令和 年 月 日

氏名 _____
(ご本人様またはご家族様ご署名)

- ・ ご家族様にご署名の場合には、患者様ご本人のご氏名もご記入下さい。